

平成26年度 大野市社会福祉協議会事業計画

I 基本方針

今日、身近な地域における住民の生活・福祉課題は、ひきこもり、生活困窮、一人暮らしや二人暮らし高齢者世帯の増加、障害者世帯等の孤立など深刻で多岐にわたってきています。

このような中、社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な組織として、地域住民やボランティア、関係する団体や機関との幅広い協働と連携のもと、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの取り組みが強く求められています。

大野市社会福祉協議会では、これらの取り組みを具現化するため策定した第三次地域福祉活動計画（計画期間：平成23～27年度）に基づき福祉のまちづくりを展開していますが、本年度は、平成25年度に行ったこの計画の実施状況評価をもとに次の項目に力点を置いて取り組みを進めます。

地域福祉部門では、市民の地域福祉推進への理解をより深め、参加と協働の促進につなげるため、社協広報活動の拡充に取り組むほか、地区社協や福祉委員をはじめとするボランティア活動への支援を積極的に進めます。

また、福祉サービス利用支援部門では、障害者の地域での生活支援に向けた計画や相談活動の充実を図るほか、放課後等デイサービス事業においては、安心のあるサービスを提供するためその拡充を図り、住民のニーズに沿った福祉サービスの提供に努めます。

さらに、介護保険部門では、要介護者の増加や介護内容の多様化・長期化が喫緊の課題となってきたことから、サービスを必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるようサービス内容の向上に取り組むと同時に、経営努力を重ね、事業の安定化を図ります。

II 重点目標

- 1 社協だよりやホームページ等による広報活動を拡充します
- 2 ボランティア活動を核とした地域福祉活動を積極的に推進します
- 3 障害者(児)や生活困窮者の自立生活支援に向けたサービスの提供を推進します
- 4 放課後等デイサービス事業の拡充を図ります
- 5 在宅福祉サービスの充実と介護保険事業運営の安定化を図ります

IV 各事業の具体的な取り組み

法人を運営する事業

事業名	(1) 事務局運営事業
事業形態	市補助事業
財源内訳	【予算59,611千円】 市補助金(39%)、自主財源(61%)
事業目的	適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整など社協全体の管理業務を行う。
事業内容	<p>(1) 法人経営の組織体制の充実強化</p> <p>①役員等による会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会の開催(年4~5回) 法人の運営及び事業計画、予算等の決定及び事業を推進する。 ・評議員会の開催(年2~3回) 法人の予算、決算、事業計画及び事業報告等を審議する。 ・監事会(監査)の開催(年1回) 理事の業務執行の状況及び法人財産の状況の監査をする。 ・総務部会・事業部会の開催(各 年1~2回) 地域福祉事業、介護保険事業の運営等を検討する。 ・正副会長会議の開催(月1回) 業務執行上の近況報告及び当面する課題等を検討する。 ・役職員の研修会の開催及び参加(年1~2回) 県内外の先進地を視察し、今後の事業運営に資する。 <p>②職員による会議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議の開催(月1回) 地域福祉事業の企画、介護保険事業の経営等を検討する。 ・会計会議の開催(随時) 予算管理等の会計実務の効率化を検討する。 ・ホームページ検討会議(随時)、社協だより編集会議及び紙面検討会議(年4回) 職員間での掲載内容検討、編集等をする。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス第三者委員会の開催(年2回) 苦情の受付や苦情申出人と苦情解決責任者との話し合いへの立合い、助言や解決案の調整をする。 ・事務局体制の整備 内部経理監査の実施 事務改善の推進、情報の共有化 <p>(2) 財政基盤の強化</p> <p>①一般会費、賛助会費の会費納入の促進 関係機関と連携し、社協のPR活動に努め、住民会員、賛助会員への理解を求めるとともに、会員の増員を図る。</p>

	<p>②寄付金の使途、税控除等の情報提供 寄付金の使途や税控除等の情報を提供し、寄付金の確保に努める。</p> <p>③赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金運営の協力 関係機関と連携し、あらゆる方法で共同募金活動のPRに努め、募金への理解を求める。</p> <p>④新会計基準移行への移行処理 27年度からの予算作成に向けて今年度に会計方針を検討する。</p> <p>(3) 福祉人材の育成</p> <p>①社会福祉士の実習生受入 社会福祉士や介護福祉士等をめざす学生等に、人材育成の一環として実習の場を提供する。</p> <p>②職員研修の充実 資質向上の各種研修会の開催及び外部研修に参加する。</p>
--	--

地域福祉を推進する事業

事業名	(2) 地域福祉推進事業
事業形態	市補助事業
財源内訳	【予算2,490千円】 市補助金(60%)、自主財源(40%)
事業目的	地区社協及び福祉委員の地域福祉活動を支援し、小地域における地域福祉の推進体制の充実と自主活動の促進を図るとともに大野市全体の地域福祉力を高める。
事業内容	<p>(1) 地区社協活動支援 地域住民の福祉課題が複雑・多様化する中で、地区社協は地域福祉を推進する団体であるとともに、住民自身による活動の主体的な取り組みの場としての役割を担っています。それぞれの地域実情・福祉課題に応じた住民主体の地域福祉活動がより一層推進されることを目的として支援する。</p> <p>①地区社協会長・副会長会議の開催(年2回) ②地区社協活動事業費補助 ③市社協と各地区社協の連携・支援</p> <p>(2) 福祉委員活動支援 地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員活動を支援し、地域実情に応じたきめ細かな小地域福祉活動がそれぞれの地域で実践されることを目的として支援する。</p> <p>①地区福祉委員会会長・副会長会議の開催(年2回) ②地区福祉委員会活動事業費補助 ③福祉委員を対象とした研修会の開催(年1回)</p>

事業名	(3) 地域福祉イベント事業
事業形態	市補助事業
財源内訳	【予算2,793千円】 市補助金(79%)、自主財源(21%)
事業目的	福祉ふれあいまつりや社会福祉大会を通して、子どもから高齢者まで、そして障害者の全ての人々が、ふれあい・交流することによりお互いの立場の理解を図り、市民の福祉意識の高まりと、ふれあいの輪の拡大を図る。
事業内容	<p>(1) 福祉ふれあいまつりの開催 期日：平成26年6月7日(土) 予定 会場：結とびあ 内容：ステージイベント、世代間交流、チャリティーバザー等</p> <p>(2) 大野市社会福祉大会の開催 期日：平成26年9月下旬 予定 会場：結とびあ 内容：①社会福祉の増進に対して功績のあった個人、団体の表彰 ②社会福祉の増進のため多額の寄付をいただいた個人、団体への感謝状の贈呈 ③福祉講演会の開催</p>
事業名	(4) 福祉の人づくり推進事業
事業形態	県社協助成・受託事業
財源内訳	【予算627千円】 県社協助成金(68%) 県社協受託金(20%) 自主財源(12%)
事業目的	地区社協と市内の小・中学校が連携した福祉教育の実践やボランティア活動を通じた市民の主体的な参加による地域福祉活動の強化を図るほか、地域における支え合いを担う人材を年齢や世代を超えて育成し、福祉の人づくりを推進する。
事業内容	<p>(1) 地域ぐるみ福祉教育推進事業 各地区社協において、校区内の児童・生徒等と世代間の交流を深め、福祉教育の推進を図る。 ① 1地区 37,500円(8地区)</p> <p>(2) つながりの輪づくり推進支援事業 ボランティア活動の参加促進等、ボランティア活動を通じた地域福祉の強化を図る。 ① ホームページでのボランティア情報発信</p> <p>(3) 地域支え合い体制づくり人材育成事業 地区社協関係者やボランティアを対象に見守り活動の充実強化を図る。 ① 地域見守りフレンズ育み講座の開催 ② 地域コミュニティーパートナー養成講座の開催</p>

事業名	(5) 地域支え合い生きがい活動支援事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算5, 325千円】 市受託金(100%)
事業目的	和泉地区において、住民が生き生きと楽しみを持って生活をする事が出来る環境づくりを進めるため、高齢者を対象に交流会等を開催し、介護予防に努めるとともに、高齢者の力や意欲を引き出し、自分らしく自立した在宅を送ることができるよう支援を行う。 また、区長会をはじめ、各関係団体間の連携を強化し、地区全体での地域福祉活動の推進を支援する。
事業内容	和泉地区福祉のまちづくり組織の体制づくりの支援、強化を図る ①支え合いづくりの研修会及び講演会の開催 ②生きがいづくり・交流の場の支援 ③要援護者の福祉ふれあいネットワークの継続及び実態把握 ④地区社協、福祉委員、民生委員児童委員との情報交換会の開催

高齢者及びその家族等を支援する事業

事業名	(6) 一人暮らし高齢者給食サービス事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算1, 530千円】 市受託金(62%)、利用者負担金(38%)
事業目的	在宅の一人暮らし高齢者を対象に給食サービスを実施し、安否確認と社会的孤立の解消を図る。
事業内容	民生児童委員を介した給食希望者申請に基づくアセスメントにより、毎月2回を限度に配食サービスを実施する。 対象者：65歳以上の虚弱な一人暮らし高齢者世帯 約80名 その他：給食ボランティアの育成と食中毒予防等の研修会を開催
事業名	(7) まごころ訪問サービス等事業
事業形態	市補助事業
財源内訳	【予算1, 495千円】市補助金(42%)、利用者負担金(44%)、自主財源(14%)
事業目的	二人暮らし高齢者等への給食サービスや一人暮らし高齢者のつどいを実施することにより、高齢者が住み慣れた地域においてそれぞれが自立していきいきと生活を送ることができる環境づくりを進める。
事業内容	(1) まごころ訪問サービス事業 福祉委員を介した給食希望者申請に基づくアセスメントにより年12回配食サービスを実施する。 対象者：共に70歳以上の二人暮らし高齢者(虚弱)・障害者世帯と一人暮らし給食サービスの非該当者であるが、見守りが必要となる一人暮らし高齢者世帯 約180名 (2) 一人暮らし高齢者のつどい「かたらいの会」の開催 期日：平成26年10月4日(土) 予定 会場：結とびあ

	内容：①そば打ちボランティアによる蕎麦の会食 ②ボランティア団体等による踊り、唄 等
事業名	(8) 在宅介護支援センター事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算3,859千円】市受託金(48%) 自主財源(52%)
事業目的	概ね65歳以上の要援護高齢者やその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、保健・福祉サービスが総合的に受けられるように関係機関との連絡調整を行い、要援護高齢者と家族等の福祉の向上を図る。
事業内容	①要援護高齢者等の実態把握 ②各種保健福祉サービス及び介護保険サービスの広報 ③要援護高齢者等の在宅介護等に関する相談及び広報 ④保健福祉サービスの利用申請手続きの受付 ⑤地域の住民から相談を受け、市包括支援センターへのつなぎ支援 ⑥担当地域ケア会議の開催 ⑦高齢者ふれあいサロンを卒業したサロンの支援
事業名	(9) 和泉在宅介護支援センター事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算172千円】市受託金(97%) 自主財源(3%)
事業目的	概ね65歳以上の要援護高齢者やその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、保健・福祉サービスが総合的に受けられるように関係機関との連絡調整を行い、要援護高齢者と家族等の福祉の向上を図る。
事業内容	①要援護高齢者等の実態把握 ②各種保健福祉サービス及び介護保険サービスの広報 ③要援護高齢者等の在宅介護等に関する相談及び広報 ④保健福祉サービスの利用申請手続きの受付 ⑤地域の住民から相談を受け、市包括支援センターへのつなぎ支援 ⑥医療・福祉連携会議の開催(月1回)
事業名	(10) 家族介護教室事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算519千円】市受託金(79%)、参加者負担金(20%) 自主財源(1%)
事業目的	高齢者の介護をしている家族の身体的、精神的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続・向上を図る。
事業内容	介護保険認定者家族を中心として、社協が担当している地域において、介護教室を開催 対象地域：陽明校区(年3回)、和泉校区(年1回)
事業名	(11) 高齢者ふれあいサロン事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算1,312千円】市受託金(99%) 自主財源(1%)
事業目的	高齢者ふれあいサロンを通して、高齢者相互のふれあいや生きがいをづくり、社会参加を促進することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の支援、介護予防を図る。

事業内容	<p>(1) 高齢者ふれあいサロンの開催 概ね65歳以上の高齢者を対象に、健康や福祉サービスの相談、情報交換会、食事会、手芸講座等を公民館や地区の集落センターにおいて月1回開催 開設箇所：1年目サロン1箇所（未定） 2年目サロン3箇所（友江、大納、錦町） 3年目サロン1箇所（新町）</p> <p>(2) サロン運営スタッフを対象とした自主サロン研修会の実施</p>
事業名	(12) お出かけほっとサロン事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算10,681千円】市受託金(100%)
事業目的	市内の温浴施設において、高齢者及び障害者の交流活動を促進し、介護予防や閉じこもり予防及び健康づくりを推進する。
事業内容	<p>市内温浴施設（あつ宝んど、フレアール和泉、パークホテル九頭竜）において転倒予防・認知症予防のため、栄養改善指導や軽体操等をし、また昼食、入浴を通して交流をする。</p> <p>対象者：老人クラブ、障害者団体 利用回数：170回（1団体 年10回）</p>

ボランティア活動及び障害者を支援する事業

事業名	(13) ボランティア活動推進事業
事業形態	市補助事業
財源内訳	【予算1,724千円】市補助金(54%)、自主財源(46%)
事業目的	ボランティア活動を推進するため、各種ボランティア養成講座やボランティアに関する広報・啓発活動を拡充し、ボランティアの育成を図るとともに、ボランティアネットワークを核とした横の連携をボランティアセンターを中心に進める。
事業内容	<p>(1) ボランティアセンター運営</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ボランティアネットワーク会議の開催（年2回） ② 福祉施設ボランティア担当者連絡会の開催（年1回） ③ ボランティアグループの育成及び組織化、グループ活動への支援 ④ ボランティアセンターの利用促進 <p>(2) ボランティアの啓発・登録・斡旋</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ボランティア登録及び斡旋 ② ボランティアだよりの発行 ③ ホームページで情報公開 ④ ボランティア保険の受付 <p>(3) 講座・研修会の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 初級ボランティア養成講座の開催 ② 傾聴ボランティアスキルアップ講座の開催

事業名	(14) 災害ボランティア活動推進事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算250千円】市受託金(96%) 自主財源(4%)
事業目的	大規模災害が発生した場合に、災害ボランティアの活動拠点となる「大野市災害ボランティアセンター」を核としての確な対策が図られるよう、平常時において構成団体等相互の連携と協力関係の構築を図る。
事業内容	(1) 災害ボランティアセンター連絡協議会の開催(年1回) (2) 担当職員の災害ボランティア研修の参加(年1回) (3) 大野市総合防災訓練の参加(8月予定) (4) 講演会の開催(12月予定)
事業名	(15) 障害者社会参加促進事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算2,812千円】市受託金(100%)
事業目的	ノーマライゼーションの社会の実現に向けて、障害者の需要に応じた事業を実施し、障害者の自立と社会参加の促進を図る。
事業内容	(1) 奉仕員等養成講座の開催 ①手話奉仕員、要約筆記者養成講座の開催 (2) 点字・声の広報等発行 ①障害者の依頼に応じ、広報おおの、社協だより等を音訳で提供 ②障害者の依頼に応じ、国の広報、本を点字で提供 (3) 福祉機器の無料貸出 ①車椅子、ベッド等の福祉機器の無料貸出 (4) 障害者(児) ニュースポーツ体験の実施 ①在宅の障害者(児)を対象にニュースポーツの紹介・体験支援 (5) 障害者(児) 自発的活動支援 ①在宅の障害者(児) やその家族が実施する行事への支援
事業名	(16) 障害者相談支援事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算6,180千円】市受託金(99%) 自主財源(1%)
事業目的	障害者(児) や難病者等及びその家族を対象として、行政や関係する地域の保健・医療・福祉・教育等のサービス機関、就労支援機関等との綿密な連携のもと、利用者等の相談支援を行い、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるように支援する。

事業内容	<p>(1) 相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉サービスの利用援助（情報提供、相談等） ②社会資源を活用するための支援（各種支援施策に関する助言、指導等） ③社会生活力を高めるための支援 ④ピアカウンセリング（年12回） ⑤権利擁護のための必要な援助 ⑥専門機関の紹介 ⑦地域生活移行支援 <p>(2) 奥越地区肢体不自由児交流会「いいねいいね会」の開催（年2回）</p> <p>(3) ピアサロンいちご会の運営（年50回）</p> <p>(4) 奥越地区障害者自立支援協議会を全体会の参画（年2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①運営会議（年8回） ②個別ケース会議（年12回） ③専門部会（年6回）
------	--

共同募金運動に関する事業

事業名	(17) 共同募金配分金事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算7,448千円】共同募金配分金(77%)、市受託金(10%)、参加者負担金(3%)、自主財源(10%)
事業目的	共同募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金）に対する市民の理解を深めながら、募金活動に努めるとともに、配分金を地域福祉の推進に有効に活用する。
事業内容	<p>(1) 共同募金推進活動</p> <p>大野市共同募金委員会へ協力し、募金活動の推進に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個別、法人募金等の依頼 ②街頭募金等の啓発活動の推進 <p>(2) 共同募金配分金事業</p> <p>市民から寄せられた赤い羽根共同募金を地域の福祉活動に助成・還元する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉教育推進事業……………【675千円】 市内の小中学校に福祉学習費用の助成及び福祉体験教室の指導 ②障害者（児）ふれあい交流事業……………【514千円】 ・バーベキュー大会の実施（5月） ・日帰り旅行の実施（8月） ③総合福祉相談強化事業……………【1,000千円】 ・無料法律相談の実施（月2回） 第2・4木曜日 午後1時～4時 予約制 ・心配ごと相談の実施（週1回）

	<p>毎週木曜日 午前9時～正午</p> <p>④広報活動拡充事業……………【1,310千円】 ・ホームページリニューアル、社協だより発行（年4回）</p> <p>⑤福祉活動団体運営助成事業……………【1,674千円】 ・福祉団体等15団体へ助成</p> <p>⑥共同募金助成事業……………【500千円】 ・会費や共同募金活動に積極的に活動されている団体等に助成 1団体 上限50,000円 10団体</p> <p>⑦地区社協活動活性化事業……………【400千円】 ・地区社協が行う特定の事業に対する助成</p> <p>(3) 歳末たすけあい募金配分金事業 市内から寄せられた歳末たすけあい募金を地域の福祉活動に助成・還元する。</p> <p>①生きがづくり奨励事業……………【324千円】 ・各地区の老人クラブに対し、花壇や農園づくり、その他、野外活動に要する経費を助成 1団体 36,000円 9団体</p> <p>②児童遊具修繕費助成事業……………【120千円】 ・児童遊具の修繕にかかる経費の1/2を、3万円を限度に助成 4箇所予定</p> <p>③在宅障害者（児）介護用品支給事業……【791千円】 ・在宅の障害者（児）に対して、オムツを月に90枚限度に購入の1/2を助成</p> <p>④一人親家庭支援事業……………【140千円】 母子・父子家庭の親子のレクリエーション教室の開催（年1回）</p>
--	---

障害者総合支援法等に基づく在宅福祉サービス事業

事業名	(18) 居宅介護サービス事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算10,670千円】介護報酬（99%）、利用者負担金（1%）
事業目的	障害者（児）が居宅において日常生活を営むことができるよう、その障害者（児）の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、身体介護、家事援助、重度訪問介護、同行援護のサービスを提供する。
事業内容	<p>障害福祉サービス受給者証の交付を受けている身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の在宅や野外活動において下記の内容で支援する。</p> <p>①身体介護（食事、入浴、清拭、排泄、更衣介助）</p> <p>②家事援助（買い物、掃除、洗濯、整理整頓）</p> <p>③通院介助（通院付き添い介助、乗降介助）</p> <p>④同行援護（視力障害者の方への付き添い介助）</p> <p>⑤行動援護（重度障害者（知的障害等）の方への付き添い介助）</p> <p>⑥地域生活支援（移動支援、外出支援）</p>

事業名	(19) 放課後等デイサービス事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算58,497千円】支援費等収入(34%)、利用者負担金(4%)、自主財源(62%)
事業目的	学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、障害児の自立を促進するとともに放課後等の居場所づくりを推進する。
事業内容	<p>障害児を放課後及び長期休暇預かり、本人の健康状態を確認しながら社会適応能力向上のための指導や、遊び支援をする。</p> <p>また本年度は、手狭となった放課後等デイサービス事業所の移転をする。カドヤ書店旧店舗を賃借し、改修工事(39,000千円)を行い、夏休み頃の供用開始を目指す。</p> <p>定員：10名(1日平均12名利用)</p> <p>内容：本人の放課後見守り支援及び保護者の就労環境支援</p>
事業名	(20) 障害者(児)計画相談事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算3,830千円】支援費等収入(98%)、市特別事業収入(2%)
事業目的	障害者(児)に対して、障害福祉サービス等利用計画についての相談や作成などを行い、障害者(児)の自立した生活を支え、適切なサービス利用に向けて支援を行う。
事業内容	<p>①障害者(児)の計画相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスを利用する前の利用計画書の作成支援 ・サービスの利用確認(モニタリング) <p>②基本相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体、知的、精神障害者本人又は家族からの相談に応じる <p>③障害者の認定調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市より障害者認定調査の依頼を受けて調査を行う

介護保険法等に基づく在宅福祉サービス事業

事業名	(21) 居宅介護支援事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算20,251千円】居宅介護支援介護料収入(76%)、市特別事業収入(5%)、自主財源(19%)
事業目的	居宅要介護者等が居宅サービス等を適切に利用をすることができるようその依頼に基づき、居宅サービス計画書の作成、介護相談、事業者との連絡調整等の適切な居宅介護支援を提供する。
事業内容	<p>①ケアマネジメントの実施</p> <p>ケアマネジャーが利用者の依頼に基づいて家庭を訪問し、心身の状態や生活の状況全般を把握し、生活上のニーズを明らかにする。明らかになった生活ニーズを解決するため本人の同意を得て居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、サービスの調整を行う。またサービスの実施状況を定期的にモニタリングし、ニーズとの適合性を把握。その後、必要に応じてサービス計画の変更や、サービスの再調整を行い、地域での継続的な生活を支援する。</p>

	<p>②介護予防ケアマネジメント業務の受託</p> <p>必要に応じて、市地域包括支援センターより介護予防ケアマネジメント業務の受託を受け、要支援者のアセスメントから給付管理までを行う。</p>
事業名	(22) 訪問介護事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算36,742千円】居宅介護料収入(90%)、利用者負担金(10%)
事業目的	介護保険サービス利用者が、その有する能力に応じ、可能な限り自立した生活を営むことができるよう、利用者の選択によりホームヘルパーが食事介助・入浴介助・排泄等の身体介護や、買い物・掃除・洗濯等の生活援助を提供する。
事業内容	<p>①援助計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅サービス計画に基づいて、訪問介護利用者の援助計画を作成 <p>②訪問介護サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員(ホームヘルパー)により、訪問介護サービス(身体介護、家事援助)提供 <p>③他事業所、専門機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支援に関わる他の事業所、専門機関と連携し、適切な役割分担と協働によって利用者の在宅生活を支援
事業名	(23) 和泉通所介護事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算21,657千円】居宅介護料収入(84%)、支援費収入(1%)、利用者負担金(15%)
事業目的	要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の世話及びレクリエーションを行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。
事業内容	<p>和泉デイサービスセンターで、介護の必要な高齢者に入浴や機能訓練等の各種サービスを提供し、高齢者の心身機能の向上に努める。</p> <p>①定員10名(火・金は定員15名)</p> <p>②サービス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康チェック、食事の提供及び介助、入浴介助、機能訓練指導、生活指導及び相談、送迎
事業名	(24) 天神通所介護事業
事業形態	自主事業
財源内訳	【予算57,668千円】居宅介護料収入(84%)、支援費等収入(1%)利用者負担金(15%)
事業目的	要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に自立した日常生活を営むことができるよう必要な日常生活上の世話及びレクリエーションを行うことにより利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

事業内容	<p>天神デイサービスセンターで、介護の必要な高齢者に入浴や機能訓練等の各種サービスを提供し、高齢者の心身機能の向上に努める。</p> <p>①定員20名</p> <p>②サービス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康チェック、食事の提供及び介助、入浴介助、機能訓練指導、生活指導及び相談、送迎
事業名	(25) 高齢者巡回ホームヘルパー派遣事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算4,063千円】市受託金(100%)
事業目的	虚弱な高齢者に訪問介護員を派遣し、巡回相談を行うことにより、在宅での自立生活の助長と要介護状態への進行予防を図る。
事業内容	<p>訪問介護員による安否確認及び生活相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者約40名

その他の生活支援に関する事業

事業名	(26) 日常生活自立支援事業
事業形態	県社協受託事業
財源内訳	【予算4,991千円】県社協受託金(86%) 利用料収入(12%) その他(2%)
事業目的	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活を送ることができるよう福祉サービス利用援助等を行うことにより、本人の権利擁護に資する。
事業内容	<p>専門員2名、支援員12名で支援</p> <p>①福祉サービスの利用援助</p> <p>②日常金銭の管理</p> <p>③書類等の預かり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者35名(うち生活保護6名含む)
事業名	(27) 和泉総合福祉センター管理運営事業
事業形態	市受託事業
財源内訳	【予算5,730千円】市受託金(88%)、自主財源(12%)
事業目的	社会福祉協議会の役割である社会福祉の啓発、住民福祉の向上、地域福祉の推進を基本に、地域福祉活動の拠点となるべく和泉総合福祉センター(地域福祉センター・わくわく館)の利用者のニーズを把握し、誰もが快適に利用できる施設運営に努める。
事業内容	<p>①施設管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館の施設、備品及物品の保守並びに維持管理に関する業務を行う。 <p>②会議室等の貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民及び各種団体が実施する自主的な福祉活動の場を提供することにより、住民の福祉増進が図れるよう会議室等施設の貸出を行う。
事業名	(28) 福祉資金貸付事業
事業形態	県社協受託事業、自主事業
財源内訳	【予算1,350千円】県社協受託金(43%)、償還金収入(35%) 自主財源(22%)

事業目的	所得の少ない世帯、障害者や介護を要する高齢者のいる世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に資金（県社協の生活福祉資金）の貸付を行うほか、生活保護世帯に準じた低所得世帯が不測の事態により緊急かつ一時的な援護を必要とする理由が生じたとき、資金（本協議会の福祉資金）の貸付を行い、生活の安定を図る。
事業内容	<p>①県社協が実施する福祉資金貸付業務の相談及び受付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉資金（技能習得、出産・葬祭、住居移転、緊急小口資金等） ・教育支援資金（高校、専門学校、短大、大学等に関する学費等） ・総合支援資金（失業者等の生活再建に関する費用） 等 <p>②当社協が実施する福祉資金貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉資金（最低生活費、生業費、教育費、医療費等） <p>1利用30,000円</p>



このマークは、社会福祉協議会のシンボルマークです。

社会福祉及び社協の「社」を図案化し、「手を取り合って明るい幸せな社会を建設する姿」を表現しています。